

クリームヘアカラー 使用説明書

医薬部外品

- ご使用の際は必ず最後までよく読んでから正しくお使いください。
- ヘアカラーは、まれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今まで本品に限らず、ヘアカラーでかぶれたことのある方は絶対に使用しないでください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあります。

このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

【内 容 量】 1剤:15g 2剤:30g

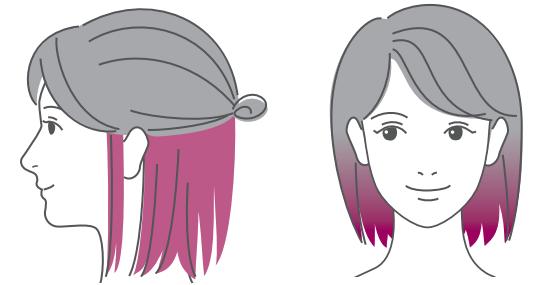
【本品目安量】 部分染め1回分:1袋 ショートヘア1回分:2袋

※本品はヘアカラー剤のみです。必要な道具に関しては別売りです。

※染める部分が多い方、毛量の多い方は2袋以上準備してください。



■気になる分け目、生え際の白髪染めに



本品は **部分染め** に最適な量です。

※おしゃれ染めは黒めの髪に使用すると色味はあまり感じられません。

【製品に関するお問い合わせ・ご相談】

ヴィヴィナス株式会社

お客様相談室 0120-201-583

土日祝日及び弊社休日を除く 午前9時～17時

⚠ 使用上の注意

1.次の方は使用しないでください

- 今まで本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月經等の出血が止まりにくい等)

2.使用前のご注意

- 染毛の2日前(48時間前)には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常に染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。

- 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- 染毛の前後1週間はパーマネントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3.使用時のご注意

- 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- 換気のよいところで使用してください。
- 必ず適切な手袋を着用してください。
- 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしづく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落してください。
- 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4.取り扱い上のご注意

- 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5.保管上のご注意

- 幼小児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- 高温や直射日光を避けて保管してください。

⚠ その他の注意点

- 幼小児には使用しないでください。
- 宿泊施設や公衆浴場等では他の方の迷惑になりますので使用しないでください。
- 薬剤の開封時に、薬剤が飛び散るおそれがあります。周囲に十分ご注意ください。
- 認知症の方などの誤飲等を防ぐために、置き場所にご注意ください。
- 本品は袋状の商品ですので上に重いものをのせないでください。中身が飛び出す恐れがあります。
- とがった物にあたると液漏れの恐れがあります。持ち運びや保管場所にはご注意ください。
- 本品は使い切り商品です。1度開封すると混ぜていなくても残った薬剤は保管できません。
- 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、十分ご注意ください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

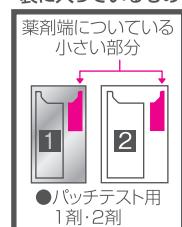
①パッチテストは重要なテストです

パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。過去に何回も異常に染毛していた方でも、突然かぶれるようになる場合もあります。毎回必ず、染毛の2日前(48時間前)にパッチテストを行ってください。

①必要なものを準備します。

薬剤以外はご自分で準備してください

袋に入っているもの



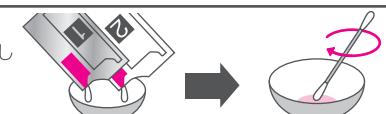
●パッチテスト用
1剤・2剤



ご自分で用意するもの

②テスト液を作ります。

開封時、周囲はカバーし薬剤の飛び散りにご注意ください
パッチテスト用部分の薬剤を容器に全て出し、綿棒で混合しテスト液をつくります。



③腕の内側に塗って48時間放置します。

服が汚れないように注意してください
テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大に綿棒でうすく塗り、自然に乾燥させてください。

※塗った部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽くふき取ってください。
そのまま触れずに48時間放置します。
(時間を必ず守ってください)

※テスト液を塗ったところは絆創膏等で覆わないでください。
※正確な結果を得るために48時間はテスト部位を濡らしたりこすったりしないでください。
入浴やシャワーはなるべく控えてください。やむを得なくシャワー等する場合は濡らさないようご注意ください。

④塗布後30分位および48時間後の2回テスト部位の観察を行います。

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚異常があった場合には、手等でこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落として染毛しないでください。

⑤48時間経過後、異常がなければ染毛してください。

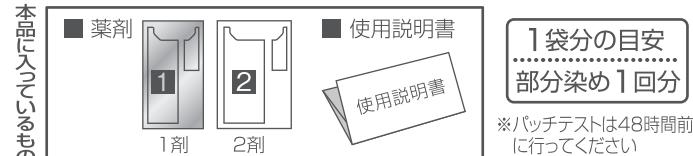
パッチテストの汚れが肌に残っている場合でも、強くこすらないでください。
通常の入浴で数日で落ちていきます。

ご使用前の準備

- 髪が絡まることがありますので事前にクシ(コーム)でとかしてください。**油性のクリーム**
- ピアス、ネックレス、指輪等のアクセサリー、メガネは外してください。
- 汚れても差し支えのない前あきの服を着用し、タオルやケープで保護して行ってください。
- 直前のシャンプーはおやめください。前日までに済ませてください。髪が整髪料等で汚れの酷い時は染まりが悪くなりますのでご注意ください。やむをえず当日にシャンプーせざるを得ない場合は、爪を立てず、指の腹で優しく洗い、しっかり乾かしてからヘアカラーを行ってください。
- 爪や皮膚も薬剤が付着すると着色するので、手袋の手首部分を輪ゴムで固定しておくと作業しやすくなります。
- 顔周りは着色予防にクリーム使用をおすすめします。ワセリンなどの油性のクリームを顔周りや首、耳等に塗ってください。
- ▲**クリームが髪に付着すると、付着部分が染まらなくなります。ご注意ください。**
- 床が汚れないように新聞紙等を敷いてください。



ヘアカラーに必要な準備品



⚠絶対に使用しないでください
皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の途中、または試験終了後異常を確認した場合には絶対に染毛しないでください。軽い症状だった場合でも、異常を確認した場合には危険ですので、絶対に染毛しないでください。

使用前の注意

- 部屋の温度が極端に寒かったり暑かったりすると、十分な染毛効果が得られません。室温は20~30度の環境で行ってください。
- 1剤開封時に少し色の濃い薬剤が混ざって出る場合がありますが品質に問題ありません。
- 薬剤の開封時、絞り出しで手が汚れる可能性があります。手の汚れ防止のために適切な手袋をつけてから行ってください。
- 本品は2剤が多い配合となっています。しっかりと混ぜ合わせてご使用ください。



ご使用の手順

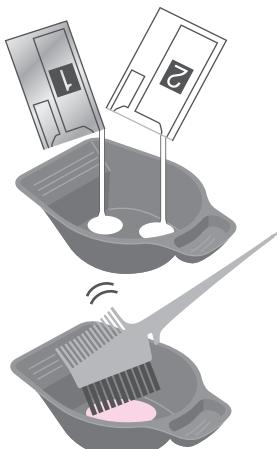
⚠ 使用中のご注意

- 混合クリームが目に絶対入らないようご注意ください。また地肌にすり込まないように塗布してください。
- 時間がたつと染毛効果が弱くなりますので、薬剤を混合後30分以内に塗り終えてください。
- 混合クリームが耳や首、顔周りなど肌に付着したときは、放置せずにすぐに水でしめられたコットンやティッシュペーパーで優しくふき取ってください。
- 薬剤塗布時は周囲に飛び散らないようご注意ください。

1 薬剤を準備します。

※薬剤は使用直前に開封し
混合してください

- 準備した容器に、薬剤を全量入れて刷毛でよく混ぜ合わせます。



2 乾いた髪に薬剤を塗ります。

※事前にクシ(コーム)で髪をとかしてください。※染めたい部分の髪を分けとりながらしっかりと塗ってください。

※髪の明るさによっては根元と毛先の明るさに差が出る場合があります。

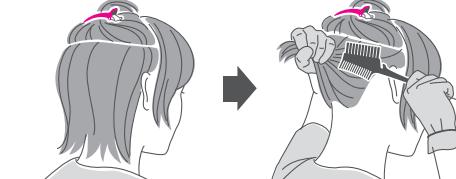
気になる分け目、生え際の白髪染め

- 染めたい部分を分けとりながら塗ります。
- 白髪の多い部分は染まりにくいのでたっぷり塗ります。



インナーカラーなどのおしゃれ染め

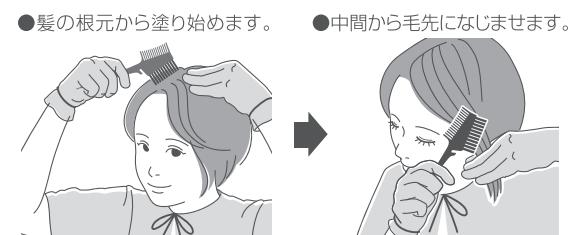
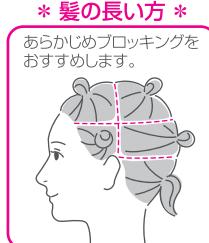
- 染めたい部分を分け取ってピンなどでとめます。
- 根元から毛先までムラなく塗ります。



全体染め

※混合後はすぐに使用してください。
※本品は使いきりです。保管できません。

- 髪をしっかりとからかみをとめてから、全体の根元→中間→毛先の順に薬剤を塗り、なじませていきます。



3 放置します。

※髪の太い方、染まりにくい方は5分程度多めに置いてください。

部分染め

放置時間 20分

塗布10分 放置15分
+
コームでなじませて 放置5分

全体染め

放置時間 20分

塗布10分 放置20分

放置時間がすぎましたら、地肌に爪を立てずにいつもよりしっかりと2回シャンプーします。

- すすぎ湯が目に入らないよう、気をつけて流してください。

- 汚れてもかまわないタオルでふいてください。

- 浴室の床や壁が汚れないように、気をつけて流してください。

浴室など次の日以降に汚れが出る場合がありますので、洗髪後は壁や床など全体的なお掃除をおすすめします。

⚠ ヘアカラー後の注意点

- * 洗髪後、タオルが汚れる場合があります。
- * めれたままの髪や、色味によっては枕カバー、衣服、帽子等が汚れる場合があります。
- * 皮膚の汚れを確認した場合、炎症の原因になりますので無理にこすらないでください。メイク落としやせっけんを付けしばらく指でなじませ、コットンやタオルで優しくふき取ってください。それでも残る分は、毎日のシャンプーで自然に落ちていきます。

- * 再度カラーしたい場合は、1週間程度間隔をおいてから行ってください。染めあがりの色味が暗くなってしまった髪に関しては、染め直してもすぐに明るくすることは出来ません。

今後の染毛のために…

- ◆個人差はありますが、髪は1か月に約1cmほど伸びます。定期的に気になり始めた部分の染毛を行う事をおすすめします。
- ◆部分染めを繰り返すと、色むらが出る場合がありますので、3か月に1度程度の全体的な染毛をおすすめします。
- ◆次回以降、今回の仕上がり色を参考に色の選択をおすすめします。

本品は分割して使用出来ません。

- 全量を出して混合する使い切りですので、薬剤が残った場合でも保存できません。かならず洗い流して捨ててください。
- 混合していくなくても、1度開封した薬剤は保管できませんので、ご注意ください。